

ヒトメタニューモウイルス

新知台耳鼻咽喉科

〒478-0064 知多市新知台二丁目4番30

TEL 0562-54-2700

● ヒトメタニューモウイルス感染症とは？

気管支炎や肺炎などの呼吸器感染症を引き起こすウイルスの一種です。1～3才の幼児の間で流行することが多いのですが、大人にも感染します。小児の呼吸器感染症の5～10%、大人の呼吸器感染症の2～4%は、ヒトメタニューモウイルスが原因だと考えられています。特に、乳幼児や高齢者では重症化することもあり、注意が必要です。

ヒトメタニューモウイルス感染症の主な症状！

ヒトメタニューモウイルス感染症は、いわゆる風邪症状にとっても似ています。

- **咳** (多くの場合、1週間程度続きます)
- **熱** (多くの場合、4～5日程度続きます)

- **鼻水**

悪化すると、以下のような症状が出ることもあります。

- **ゼイゼイ(ヒューヒュー)という呼吸** (喘息様気管支炎、細気管支炎)
- **呼吸困難** など



ヒトメタニューモウイルス感染症の特徴！

ヒトメタニューモウイルスに感染しても、1週間程度で症状は治まります。しかし、1回の感染では免疫が獲得できません。何度か繰り返して感染してしまいましたが、年齢が上がるにつれて徐々に免疫がつき、症状が軽くなる傾向にあります。ヒトメタニューモウイルスは、ウイルスの遺伝子も感染症の症状もRSウイルスに似ており、症状も見た目だけでは診断できません。感染の流行を防ぐためにはウイルスの鑑別を行うことも大切ですので、医師から検査を勧められることがあります。ヒトメタニューモウイルスの迅速診断キットでは、鼻咽頭を細い綿棒でぬぐった後、5～15分程度で鑑別できます。1年中発症は確認されていますが、特に3～6月は流行のピークです!!

ヒトメタニューモウイルス感染症の治療

★**基本は対症療法**…ヒトメタニューモウイルスだけに感染している場合、各症状を楽にするための対症療法を行います。水分をしっかりととり、温かくしてゆっくりと休みましょう。症状が辛いときは、咳や鼻水を抑えたり、熱を下げたりするためのお薬が出ることがあります。

★**細菌の同時感染にも注意**…ヒトメタニューモウイルスと同時に細菌にも感染してしまうことも少なくありません。ヒトメタニューモウイルスに感染し、熱が4日以上続く場合は、細菌にも感染している可能性があり、その場合は、抗菌薬が必要となります。熱が長引く時は、中耳炎や細菌による肺炎などをおこしていることがあるので、再度早めに受診しましょう。また、お薬が出たら、医師や薬剤師の指示通りに飲みましょう。

★**帰宅したら、手洗い・うがい、家庭内でも感染対策**…ヒトメタニューモウイルスは、咳やくしゃみで吐き出されたウイルスが付いてしまったり(飛沫感染)、気がつかないうちにウイルスに触れてしまったり(接触感染)することで感染が広がります。保育園・幼稚園や小学校などでの集団感染に注意する必要がありますので、家に帰ってきたら、手洗い・うがいを徹底しましょう。また、家庭内でもご兄弟、ご両親、おじいさん・おばあさんに感染してしまうことがあります。お子様の調子が良くないときは、ウイルス感染が広がらないよう、マスクを着用する、タオルや食器を分けるなどの感染対策をしましょう!!

★ **症状が急に変わることもあります。疑問な点や困った事がありましたら、なるべく早目におたずねください。**

おだいじに
なさってください。

